

# ウォーキングコース 過去と未来への道 2

(散策コースC)

**Start!**  
東武鉄道野田 六実駅  
約9分

**六実桜まつり碑**  
六高台さくら通りの南端に、六実桜まつり20周年の記念に建てられた碑。六実やさくら通り、桜まつりの歴史を記したプレートと、盆踊りなどで流れる「むつみ音頭」の歌詞を記したプレートが並んでいます。

約3分

**六実稻荷神社**  
五香六実開墾記念樹。明治十年ころ、開墾の記念に植樹された山桜。樹齢120年以上の古木でしたが、平成十年の六実集会所改築の際、余儀なく伐採することになりました。現在は、その一部を保存してあります。

約13分

**高麗(たかお)神社**  
明治二年(1869年)の開墾事業により入植した人々が、防火のため出雲から勧請した「龍蛇神」と、相模大山から勧請した「タカオカミ」の、二つの祭神をまつった鎮守様。境内には開墾百年記念碑と、香実会所跡の石碑があります。

約6分

**野馬除主手(木戸遺構)**

約17分 くすのき通りを歩く

**野馬除緑地**

約5分

**さくら通り**

約9分

**東武鉄道野田 六実駅**

所要時間 約62分

# 松戸市全図

**電車でのアクセス**

**新京成 五香駅**  
JR常磐線松戸駅より乗換、五香駅(約11分)  
JR武蔵野線新八柱駅より乗換、五香駅(約4分)

**東武鉄道野田 六実駅**  
新京成線新鎌ヶ谷駅より乗換、六実駅(約1分)  
JR常磐線柏駅より乗換、六実駅(約13分)

お問い合わせ  
**松戸市役所商工観光課**  
〒271-8588 松戸市根本387-5  
電話047-366-7327  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp>

**松戸市観光協会**  
〒271-8588 松戸市根本387-5(商工観光課内)  
電話047-366-7327  
<http://www.matsudo-kankou.jp/>

# GUIDE MAP

5 知るほどにもっとスキになる まつど

## 五香・六実地区 散策マップ

緑花清流のまち

松戸市役所商工観光課  
松戸市観光協会

# ウォーキングコース さわやか街道

(散策コースA)

**Start!**  
新京成 五香駅  
約10分

約6分 生(なま)街道を歩く

**松飛台公園**  
約22分

**建設技術展示館**  
国交省が運営する、公共事業における様々な技術の展示館。屋内展示場では建設技術の歴史や最新技術の紹介、屋外展示場ではトンネル掘削用シールドマシン・舗装技術の実物展示やピオトープ、バリアフリー体験コーナーなどが常設されています。また、松戸市教育委員会と共催で、「建設技術と暮らしの関わり」をテーマに年1回、市民講座を開催しています。

約1分

**遊歩道・緑道**

約9分

**生(なま)街道**

約1分

**子と清水(こわしみず)緑地**  
「親は古酒子は清水」という伝説の残る泉。鯉子の魚を陸路運んだ生街道が通っており、途中この場所で一息つくと共に湧き水をかけて魚の鮮度を守ったと言われていています。緑地内には小林一茶の「母馬が番して吞ます清水かな」句碑があります。

約8分

**翠雲堂・大仏頭部**

約2分

**金毘羅神社**

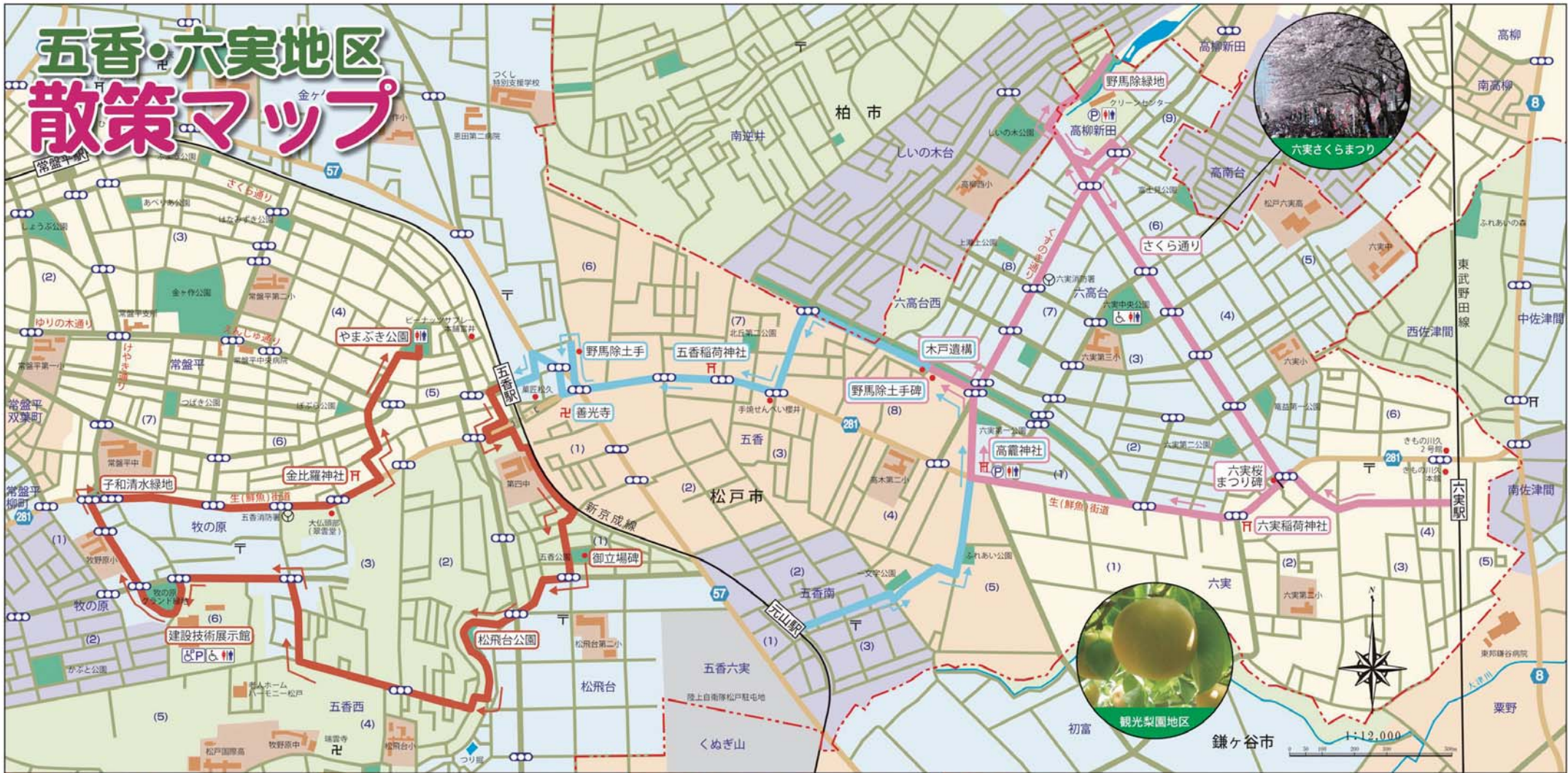
約8分

**やまぶき公園**

所要時間 約67分



# 五香・六実地区 散策マップ



### 建設技術展示館

屋内、屋外展示場などで構成され、建設関連企業等の技術製品を展示。毎年内容を一新しています。屋内展示場には、「環境/安全・防災」など5つのテーマからなる新技術コーナーや、古代から現代までの建設技術の移り変わりをパネルで紹介する歴史コーナーなどがあります。また、屋外には、22種類の車道舗装をパネルと舗装構成(模型)・サンプルで解説する車道舗装プロムナード、河川モデル・ピオトープもあります。

開館時間：10:00～16:30 (12月～2月は16:00まで)  
休館日：金・土・月曜日、年末年始 入館料：無料  
電話番号：047-389-5121 (代)

### 善光寺

常盤山(りょうじゅせん)善光寺は、明治二十四年(1891年)に、小金にある東漸寺の大康上人に師事した井栄上人が創建しました。井栄上人は非凡な才能を持った高僧で、米粒に細字で経を書いたといわれます。また境内には、五香六実の町会が建てた戦没者供養塔があります。

### 野馬除土手

徳川幕府が直接経営していた野馬の放牧場に築かれた土手。馬の逃亡を防ぎ、野犬などから馬を護る一方、農民にとっては、農作物を守るため大切なものでした。幕末の記録によると、総延長150キロメートルあった土手も、宅地開発によって分断されてしまいました。現在は市の文化財として保存されています。

### 高龍神社

明治二年(1869年)の開墾事業により入植した人々が、防火のため出雲から勧請した「龍蛇神」と、相模大山から勧請した「タカオカミ」の、二つの祭神をまつた鎮守様。境内には開墾百年記念碑と、香美会所跡の石碑があります。

散策コースA(約67分)	散策コースB(約44分)	散策コースC(約66分)
新京成 五香駅	新京成 元山駅	東武野田線 六実駅
↓約10分	↓約12分	↓約9分
御立場碑(五香公園内)	高龍神社	六実桜まつり碑
↓約6分	↓約6分	↓約3分
松飛台公園	野馬除土手(木戸遺構)	六実稲荷神社
↓約22分	↓約13分	↓約13分
建設技術展示館	五香稲荷神社	生街道を歩く
↓約11分	↓約8分	↓約6分
子と清水緑地	野馬除土手	野馬除土手(木戸遺構)
↓約10分	↓約2分	↓約17分
生街道を歩く	善光寺	くすのき通りを歩く
金比羅神社	↓約3分	↓約8分
↓約8分	新京成 五香駅	クリンセンター経由
やまぶき公園	↓約3分	さくら通り